



第6位「フェイク」(Donnie Brasco) (97・米)  
 監督マイク・ニューウェル、主演アル・パチーノ、  
 ジョニー・デップ  
 2位にした「フェイク」も、マフィアの世界をリアルに描いたヘビー級の傑作だった。(垣井道弘)  
 「フェイク」は、スターが演技派に脱皮した瞬間を見たようで感激。(金子裕子)



第7位「浮き雲」(Drifting Clouds) (96・フィンランド)  
 監督アキ・カウリスマキ、主演カリ・ヴァーナネン、  
 カティ・オウティネン  
 いつも同じ顔(に見える)の役者たちから感情を引き出す、絶妙の“間”の演出。映像ですべてを語る、まさに映画的空間だ。(稲垣都々世)



第8位「コーリヤ愛のブラハ」(Kolya) (96・チェコ=英=仏)  
 監督ヤン・スヴィエラーク、主演ズディニェク・ス  
 ヴィエラーク、アンドレイ・ハリモン  
 97年は「コーリヤ愛のブラハ」などイキのいい子役  
 たちも印象に残っています。(鳥居 隆)  
 子供の演技が光る。(福田千秋)



第9位「マーズ・アタック！」(Mars Attacks!) (96・米)  
 監督ティム・バートン、主演ジャック・ニコルソン、  
 グレン・クロース  
 50年代SF映画のエッセンスをバカバカしくハメを  
 はずした「マーズ・アタック！」は茶目っ気がすご  
 く楽しかった。(日野康一)



第10位「太陽の少年」(陽光燦爛的日子/In the Heat of the Sun) (94・中=香港)  
 監督チャン・ウェン、主演シア・ユイ、ニン・チン  
 馴染みがあるようでどこか異質な中国文化を描いた  
 「太陽の少年」は、アメリカ映画とはひと味違う、  
 でも映画ならではの感動を与えてくれた。(竹内万理)

## 選出者のコメントから



第1位「シャイン」(Shine) (95・オーストラリア)  
 監督スコット・ヒックス、主演ジェフリー・ラッ  
 シュ、ノア・テラー  
 ジェフリー・ラッシュも、ピアノが自分で弾けたか  
 らあそこまで真に迫った演技ができたのだろう。  
 (西森マリー)



第2位「イングリッシュ・ベイシエント」(The English Patient) (96・米)  
 監督アンソニー・ミンゲラ、主演レフ・ワイン  
 ズ、ジュリエット・ピノシュ  
 初選出で大苦悩。1位「イングリッシュ・ベイシエ  
 ント」はメロドラマの型を堪能。(新田隆男)



第3位「世界中がアイ・ラヴ・ユー」(Everyone Says I Love You) (96・米)  
 監督ウッディー・アレン、主演ウッディー・アレン、  
 ジュリア・ロバーツ  
 久しぶりに映画を見てうきうきするような気分にな  
 った「世界中がアイ・ラヴ・ユー」はアレンの映画  
 ファン気質まるだしの演出に乾杯！(福田千秋)



第4位「タイタニック」(Titanic) (97・米)  
 監督ジェームズ・キャメロン、主演レオナルド・デ  
 ィカプリオ、ケート・ウィンスレット  
 沈没シーンすら飲み込んでしまうディカプリオ&ウ  
 インスレットの恋が、どうしてあも感動を呼ぶか。  
 大味なアクションしか撮ってないキャメロンのどこ  
 に、あんなデリカシーがあったか？(清藤秀人)



第5位「奇跡の海」(Breaking the Waves) (96・デンマ  
 ーク)  
 監督ラース・フォン・トリアー、主演エミリー・ワ  
 トスン、ステラン・スカーシュゴード  
 「奇跡の海」の衝撃は、96年のカンヌ映画祭から続  
 いており、時がたつにつれてますます重く心にのし  
 かかってくる。(土屋好生)